

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害非常時の計画策定の必要があり、又、避難訓練の必要もある。	災害時の計画の策定が出来、避難訓練の実施出来る。	1)緊急連絡網の整備(緊急連絡網が機能するかシミュレーションを行なう。) 2)避難災害時の計画の策定と見直しをする。 3)避難訓練の実施出来るよう計画を立てる。	12ヶ月
2	49	限られた狭い空間内での生活となり、入居者間で想いが食い違うことがあり、トラブルになる事がある。	気分転換が出来、生き活きと張りのある生活が送れる。	1)天気の良い日には個別に車椅子などで散歩に出かける。 2)散歩の出来ない天候の日は、玄関先で個別に話しをしたり、レクリエーションをしたりする。 3)ユニット間を越えて交流の機会を作る。	12ヶ月
3	2	外出する事が少なく、子どもたちとの触れ合いを楽しみにしているが機会が少ない。	子供たちとの交流が増えるように計画する。	1)保育園とのボランティア交流は、毎年あるので続けて出来る様に計画する。 2)小学校や中学校へグループホームでの体験学習出来るよう依頼する。 3)地域の子供会にも機会があれば、夏祭りなどに参加していただけるよう計画する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。